

【市からのまとめ】

- ・ 本日は厳しいお話や、お叱りをいただいたが、地域をよくしたい、生き生きと暮らしたい、住みよい地域にしたいとの気持ちだと思うので、その気持ちを忘れず、できるだけ希望に沿えるように努力していきたい。
- ・ 出張所管区見直しによる相武台地区活性化については、市全体では老年人口が17パーセント強だが、特に相武台地区や相模台地区、東林地区では高齢化が進んでいる。
- ・ しかし、高齢者の豊かな経験や知識等が活かされた地域づくりも行われると思うので、そう捨てたものではないような気もする。
- ・ 何もしないと人口が減るので、政令指定都市を市長が提案し、魅力あるまちづくり、生き生きとしたまちづくりを目指している。
- ・ 出張所管区の見直しについては、昔からの地域の伝統等や新磯村時代からの問題もあり、難しい問題である。
- ・ 町田市との行政界も境川を真っすぐにすると、東京都の地域が相模原市になったり、相模原市の地域が東京都になったりする。
- ・ また、東京都の方が高く土地が売れるので、東京都へ変わりたいと言ったり、下水道やごみが相模原市は不便なので、相模原市に来たくないと言ったりする人もいる。
- ・ 境界の変更には、神奈川県議会と東京都議会の議決を経なければいけないが、前都知事は土地が減るから変更はしたくないと言っていた。
- ・ 生活圏域の問題があり、議会でもたびたび問題になっており、今後の課題もある。
- ・ 政令指定都市になれば（仮称）区民会議ができるので、新磯地区も含めた会議の中で議論してもらうのも1つの方策だと思っている。
- ・ 公民館の移設については非常に悩ましい問題である。
- ・ 公民館は現在、旧市域に23館、津久井地域に9館ある。
- ・ 平成18年から昭和50年代に開館した公民館の建て替えが始まり、一番古かった大沢出張所・公民館から行ったが、自治会の皆さまからは、改築ではなく、新築にしてほしいとの要望があった。
- ・ 新築の場合には、改築の倍の年月がかかり、また、新築の場合には6億円ぐらにかかるので、改築により3億円でおさめようと考え、増改築で行った。
- ・ そうした努力をしているので許していただきたい。
- ・ 大規模改修については、公民館改修計画を策定する中で、いろいろな方面からのご意見や地域のご意見をお伺いして、進めていきたい。
- ・ 小田急相武台前駅近隣地区の側溝整備については、生活道路であり、お年寄りや子どもが転ぶ可能性があるため、対応していくのでどしどし言っていただきたい。
- ・ 座間市との境界の見直しは、市間で話はするが、市だけの対応で解決する問題ではないので、自治会同士や商店会同士での話し合いも日ごろから始めていただきたい。
- ・ 住民同士でまとまったことに対して市が反対することはないので、そうした話し合いを進めていただきたい。
- ・ 市道相武台47号は、従来から検討はしていたが、地権者との調整があり、なかなか進まなかった。
- ・ 基本的には改良をご了解いただいているので、市としてはここで改良のための測量に入る。
- ・ 再編交付金も充当し、相武台地区の主要道路として位置づけ、積極的に対応していきたいと思うので、ご協力をよろしくお願いしたい。

- キャンプ座間のゴルフ場側道の共同使用については、1つのアイデアであると思うが、後は米軍の考え方が問題である。
- 返還4事案として、米軍再編の際、キャンプ座間の東側、相武台地区との境に道路をつくることで投げかけをしており、今後、話し合っていくことになっている。
- 話の焦点がぶれると、米軍側も対応できなくなるので、今後も市米軍基地返還促進等市民協議会とも協議し、考えていきたい。